

CASBEE_Sapporo2014v1.2
二条小学校

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄					建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
実施設計段階		重点評価項目				A	B	C	D	評価点	重み係数	評価点	重み係数		
配慮項目		A	B	C	D									評価点	重み係数
Q 建築物の環境品質															
Q1 室内環境															
1 音環境															
1.1 騒音															
1.2 遮音															
1 開口部遮音性能															
2 界壁遮音性能															
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)															
4 界床遮音性能(重量衝撃源)															
1.3 吸音															
2 温熱環境															
2.1 室温制御															
1 室温															
2 外皮性能															
3 ゾーン別制御性															
2.2 湿度制御															
2.3 空調方式															
3 光・視環境															
3.1 昼光利用															
1 昼光率															
2 方位別開口															
3 昼光利用設備															
3.2 グレア対策															
1 昼光制御															
2 眩り・まぶしさ対策															
3.3 照度															
3.4 照明制御															
4 空気質環境															
4.1 発生源対策															
1 化学汚染物質															
2 浮遊粒子状物質															
4.2 換気															
1 換気量															
2 自然換気性能															
3 取り入れ外気への配慮															
4.3 運用管理															
1 CO ₂ の監視															
2 喫煙の制御															
Q2 サービス性能															
1 機能性															
1.1 機能性・使いやすさ															
1 広さ・収納性															
2 高度情報通信設備対応															
3 バリアフリー計画															
1.2 心理性・快適性															
1 広さ感・景観															
2 リフレッシュスペース															
3 内装計画															
1.3 維持管理															
1 維持管理に配慮した設計															
2 維持管理用機能の確保															
3 衛生管理業務															
2 耐用性・信頼性															
2.1 耐震・免震															
1 耐震性															
2 免震・制振性能															
2.2 部品・部材の耐用年数															
1 躯体材料の耐用年数															
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔															
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔															
4 空調換気ダクトの更新必要間隔															
5 空調・給排水配管の更新必要間隔															
6 主要設備機器の更新必要間隔															
2.4 信頼性															
1 空調・換気設備															
2 給排水・衛生設備															
3 電気設備															
4 機械・配管支持方法															
5 通信・情報設備															
3 対応性・更新性															
3.1 空間のゆとり															
1 階高のゆとり															
2 空間の形状・自由さ															
3.2 荷重のゆとり															
3.3 設備の更新性															
1 空調配管の更新性															
2 給排水管の更新性															
3 電気配線の更新性															
4 通信配線の更新性															
5 設備機器の更新性															
6 バックアップスペースの確保															

CASBEE_Sapporo2014v1.2 二条小学校		欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)						
スコアシート	実施設計段階	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄				
		A	B	C	D	建物全体・共用部分	住居・宿泊部分	全体		
配慮項目						評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q3 室外環境(敷地内)										
1 生物環境の保全と創出			C			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			C		周辺への圧迫感の軽減	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮										
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				D	敷地内に遊歩道を設置、敷地内へ入れる様に計画	4.0	0.50	-	-	4.0
3.2 敷地内温熱環境の向上		B	C			3.0	0.50	-	-	3.0
LR 建築物の環境負荷低減性										
LR1 エネルギー										
BPI=0.605										
1 建物外皮の熱負荷抑制	A					5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用	A					2.1	0.10	-	-	2.1
BEI 非住宅 - 住宅(専有部) -										
3 設備システムの高効率化						3.8	0.50	-	-	3.8
集合住宅以外の評価(3a.3b)	A				BEI=0.95	3.8	1.00	-	-	3.8
集合住宅の評価(3c)	A					-	-	-	-	-
4 効率的運用										
集合住宅以外の評価						3.0	0.20	-	-	3.0
4.1 モニタリング	A					3.0	0.50	-	-	3.0
4.2 運用管理体制	A					3.0	0.50	-	-	3.0
集合住宅の評価						-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	A					5.0	-	-	-	5.0
4.2 運用管理体制	A					5.0	-	-	-	5.0
LR2 資源・マテリアル										
3.4 0.20 - - 3.4										
1 水資源保護										
1.1 節水					節水型大便秘器、洗面の自動水栓、擬音装置(一部)	4.0	0.40	-	-	4.0
1.2 雨水利用・雑排水等の利用										
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70	-	-	3.0
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-	3.0
2 非再生性資源の使用量削減										
2.1 材料使用量の削減		B				2.0	0.10	-	-	2.0
2.2 既存建築躯体等の継続使用		B			-	3.0	0.20	-	-	3.0
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		B				3.0	0.20	-	-	3.0
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		B			合板、フローリング、ビニル系床材	5.0	0.20	-	-	5.0
2.5 持続可能な森林から産出された木材		B				3.0	0.10	-	-	3.0
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		B			躯体と仕上げ材が容易に分別可能	4.0	0.20	-	-	4.0
3 汚染物質含有材料の使用回避										
3.1 有害物質を含まない材料の使用						3.0	0.30	-	-	3.0
3.2 フロン・ハロンの回避										
1 消火剤		B				3.0	0.70	-	-	3.0
2 発泡剤(断熱材等)		B				3.0	0.50	-	-	3.0
3 冷媒		B				3.0	0.50	-	-	3.0
LR3 敷地外環境										
0.30 - - 2.8										
1 地球温暖化への配慮										
		B			ライフサイクルCO2排出率 換算スコア=3.2	3.2	0.33	-	-	3.2
2 地域環境への配慮										
2.6 0.33 - - 2.6										
2.1 大気汚染防止										
2.1 大気汚染防止		B				3.0	0.25	-	-	3.0
2.2 温熱環境悪化の改善										
2.2 温熱環境悪化の改善		B	C	D		2.0	0.50	-	-	2.0
2.3 地域インフラへの負荷抑制										
1 雨水排水負荷低減		B				3.5	0.25	-	-	3.5
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-	3.0
3 交通負荷抑制					適切な量の駐車スペース	3.0	0.25	-	-	3.0
4 廃棄物処理負荷抑制		B		D	分別回収可能なゴミ庫を設置	4.0	0.25	-	-	4.0
3 周辺環境への配慮										
2.7 0.33 - - 2.7										
3.1 騒音・振動・悪臭の防止										
1 騒音						3.0	0.40	-	-	3.0
1 騒音						3.0	1.00	-	-	3.0
2 振動						-	-	-	-	-
3 悪臭						-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制										
1 風害の抑制						1.6	0.40	-	-	1.6
1 風害の抑制						1.0	0.61	-	-	1.0
2 砂塵の抑制						2.0	0.19	-	-	2.0
3 日照障害の抑制						3.0	0.21	-	-	3.0
3.3 光害の抑制										
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					光が漏れる面は敷地境界から十分な離れを確保	4.4	0.20	-	-	4.4
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策						5.0	0.70	-	-	5.0
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策						3.0	0.30	-	-	3.0